

天塩川における魚類の移動経路の現状

天塩川本川及び名寄川においては、11箇所の頭首工・堰が存在し、そのうちの5箇所には魚道が設置されていない。

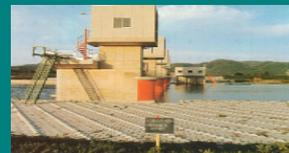
真熟別頭首工



魚道



天塩川第一頭首工



魚道



凡 例

	ダム
	頭首工・堰(魚道あり)
	頭首工・堰(魚道なし)
	市町村界線

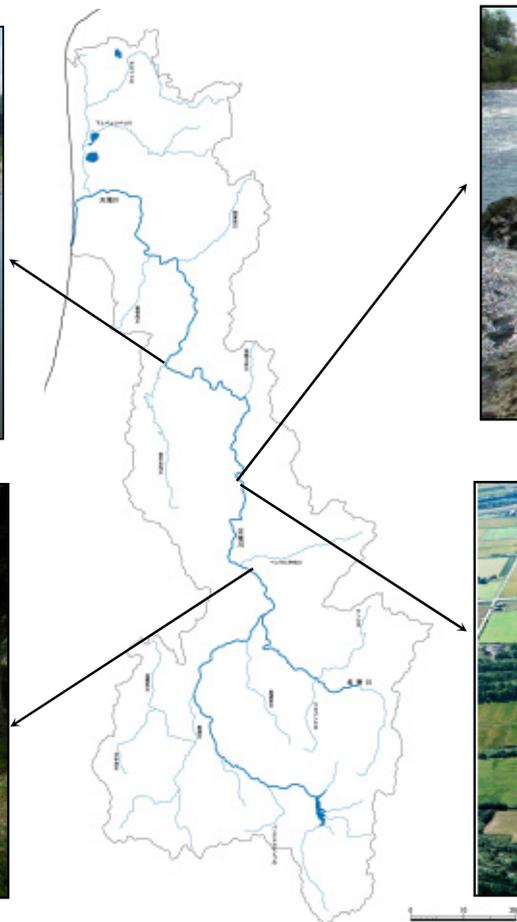
	施設名	構造	魚道
天塩川	風連20線堰	可動	×
	天塩川第2頭首工	可動	
	下士別頭首工	可動	×
	天塩川第1頭首工	可動	
	剣和頭首工	可動	×
	士別川頭首工	可動	×
名寄川	東士別頭首工	可動	×
	真熟別頭首工	可動	
	上名寄頭首工	可動	
	名寄川頭首工	可動	
	川向頭首工	固定	



サクラマス

天塩川らしい河川環境

テッシ、旧川、連続した河畔林などは、天塩川を特徴づける良好な河川環境であるとともに、多様な生物の生息・生育環境となっており、これらに配慮する必要がある。

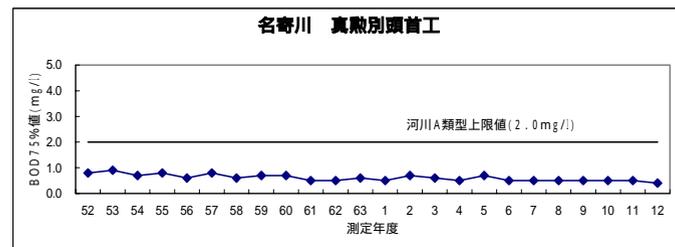
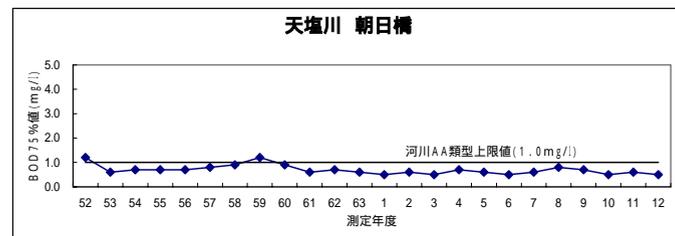
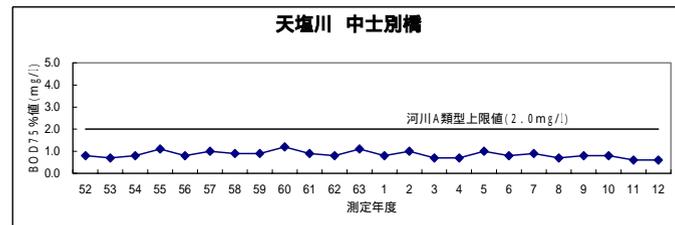
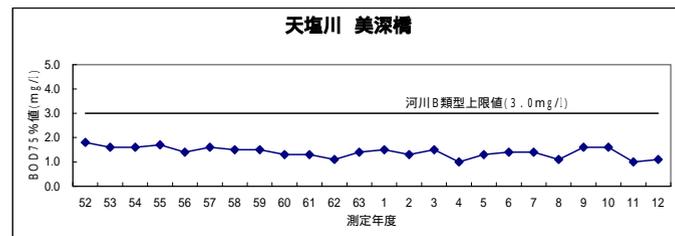


水質等の現状

- 天塩川の水質は、経年的に概ね良好に保たれているが、一部の旧川では、流入河川等の影響による水質汚濁が見られる。
- 天塩川や名寄川の一部区間では、取水等により流量が著しく減少することがある。



天塩川 下土別頭首工下流部(平成11年洪水時)



天塩川BOD75%値推移図

・天塩川流域には、河川敷等を利用した河川公園、運動場、カヌーポート等が整備されている。また、カヌーのイベントとして「ダウン・ザ・テッシ-オ-ペツ」が開催されている。



ダウン・ザ・テッシ-オ-ペツの様子

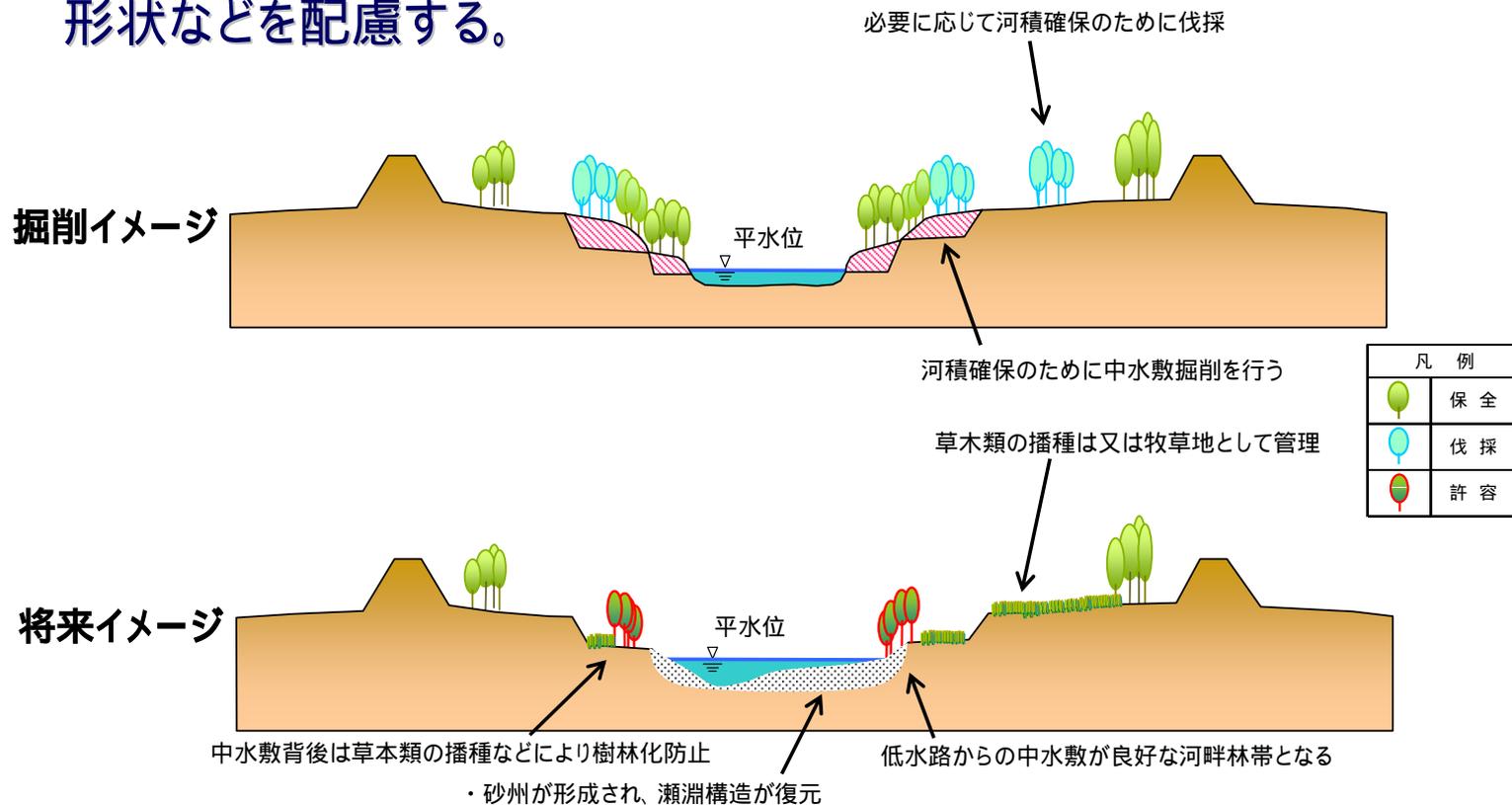


高水敷に整備されたサッカー場



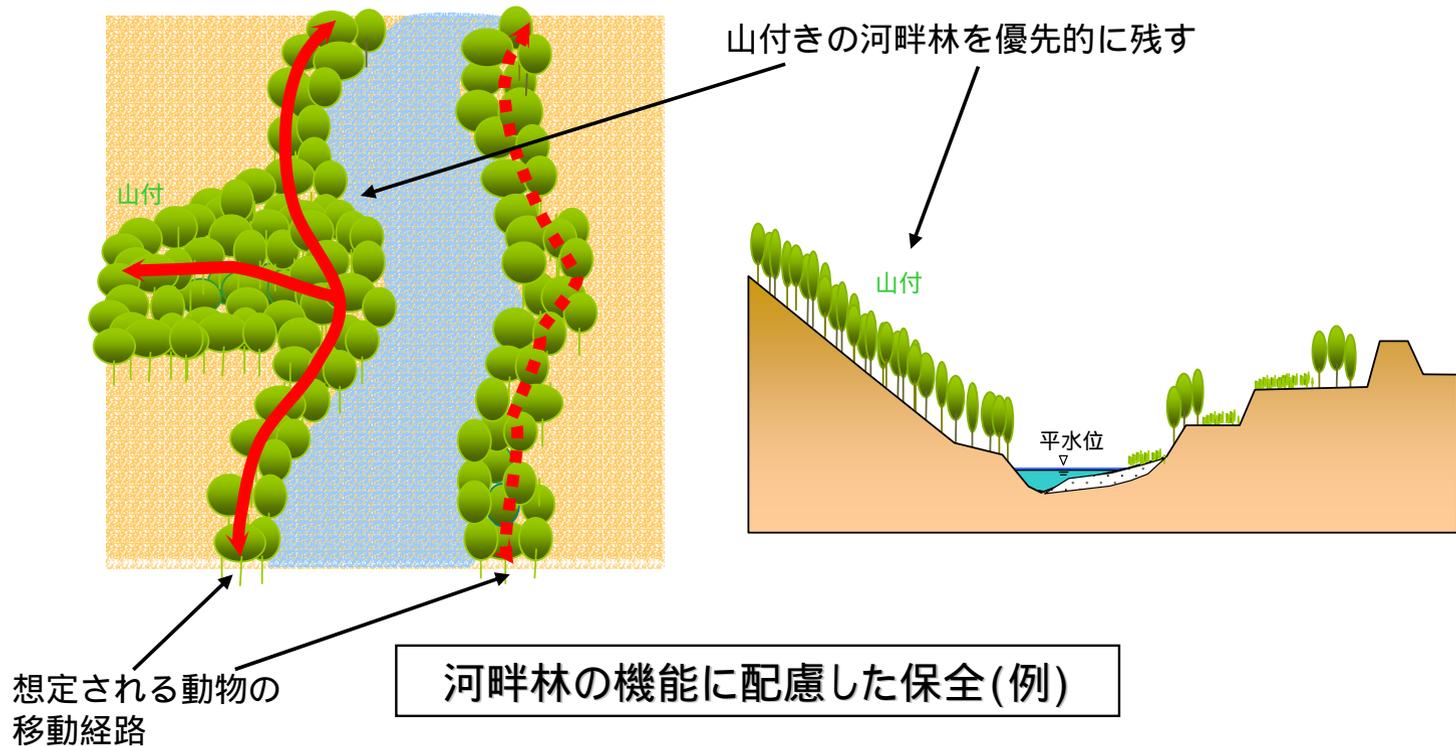
- 天塩川らしい河川環境の保全に努める
 - 良好な水質の保全に努める
 - 魚類の移動経路の確保に努める
 - 人と河川とのふれあいの場の確保に努める
-

- 河川改修を行う場合には、テッシ、瀬・淵、河畔林などの天塩川らしい河川環境が保全・形成されるように、整備時の横断形状や平面形状などを配慮する。



上記は掘削イメージの一例であり、状況に応じて片岸の場合もある。

- 河畔林は洪水時には流下能力阻害の要因となり、また流木となって被害を及ぼす可能性がある。一方、河畔林は生物の移動経路としての機能を有しており、保全にあたっては治水面との整合を図りつつ、縦断的な連続性並びに周辺樹林地との連続性に配慮する。



環境影響評価実施要綱（S59年閣議決定）に基づきサンルダム建設事業に係る環境影響評価手続きを平成7年7月に完了している。

環境影響評価 の実施

北海道知事からの「天塩川水系サンルダム建設事業に係る環境影響評価準備書に関する意見について(回答)」

平成7年2月2日付け北開局環第14号で照会のありましたこのことについては、特に意見はありません。なお、今後、事業を進めるに当たって、特に配慮すべき事項に係る附帯意見は、次のとおりです。

- 1 イソツツジについては、今後、地形等を含めた生育状況に関する調査を実施するとともに、移植などの保全措置を講じること。
- 2 遡上性魚類の生息環境を保全するため、魚類調査を継続するとともに、魚道に関する今後の調査・研究等の動向を見ながら、魚道の設置について積極的に検討すること。
- 3 気象と植生との関連などについては、ダムなどの事業を実施するに当たって、必要な環境保全対策を検討する上での重要な基礎資料となるものであることから、長期的・計画的に調査を実施すること。

平成8年以降

継続的な調査の実施

貴重な植物の移植等

環境保全措置の実施

最新知見・最新情報

に基づく評価の追加

イソツツジの保全

評価書を受けて、ダム周辺の移植候補地を選定し 移植試験、モニタリングを実施している。



イソツツジ

移植試験の状況

サクラマスなどの遡上性魚類の生息環境の保全

北海道知事の附帯意見を受けて、遡上性魚類の生息状況を把握するため調査を実施している。

サンルダム建設に伴う遡上性魚類の保全対策として魚道の設置に向けて検討している。尚、調査及び検討については有識者の助言を得ながら実施している。

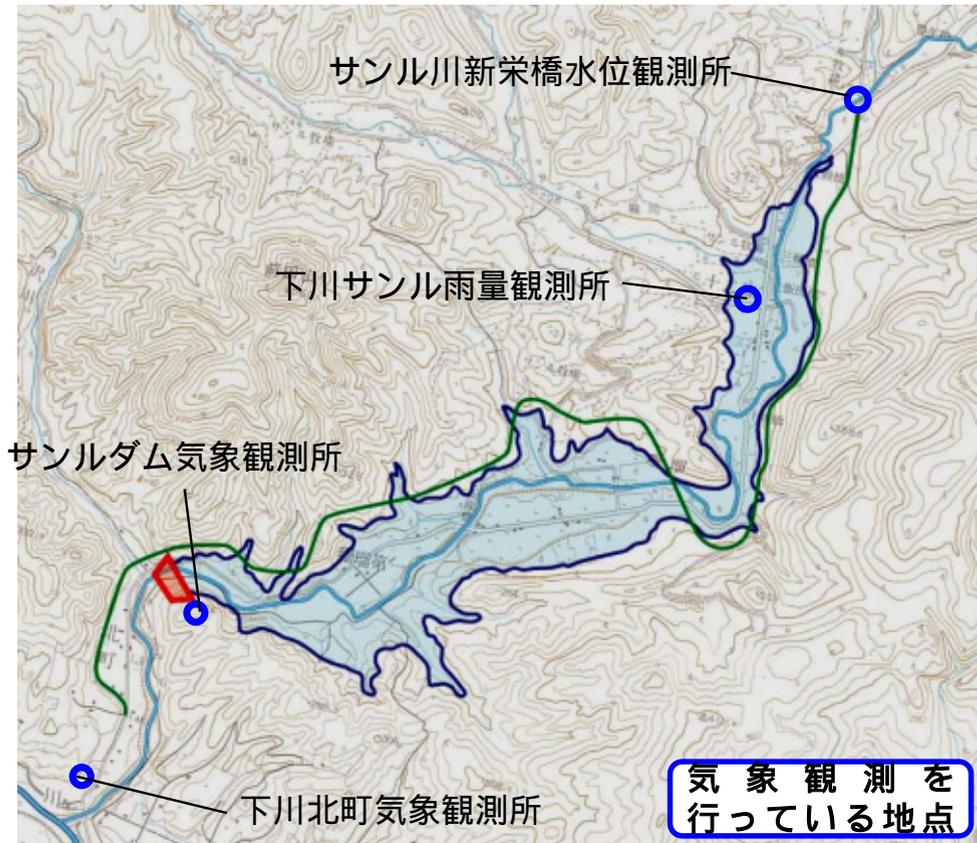


サクラマス成魚

- ・サケ科魚類確認調査
- ・ヤマメ生息密度調査
- ・サクラマス産卵床調査
- ・サクラマススモルト調査
- ・ヤマメ越冬場環境調査

気象観測調査の実施

サンルダム建設事業による環境影響を把握するため、気象の観測(気温・湿度・日射・風向・風速・雨量・霧)を継続的に実施している。



サンルダム気象観測所

- 良好な水質の保全を図るため、関係機関や地域住民と連携しながら水利用の合理化や流入負荷の低減等に努める。
- 水面利用の要望が地域から上がっている旧川については、地域と協力して水質改善に努める。



環境教育による河川水の水質への意識高揚
(水生生物を指標とした水質調査)



幌延旧川

- 魚類の移動が阻害されている区間においては、施設管理者と連携しながら、魚道の設置などに取り組む。
- 樋門等の整備にあたっては、支川等との魚類の移動経路の確保に努める。



風連20線堰堤

- 天塩川の豊かな自然環境を、人と河川とのふれあいの場や環境学習の場として活用できるよう、自然を活かした親水空間の整備に取り組む。
- 案内看板、駐車場、休憩施設、スロープの整備など既存施設の改善に関係機関等と連携して取り組むとともに、車椅子の利用者や高齢者など誰もが安心して親しめる川づくりを推進する。
- 関連する計画との整合を図りながら、関係機関や地域住民と一体となって取り組む。



北海道命名の地の碑



環境整備のイメージ